

DA
3586
2004
(119)

筑波大学博士（言語学）学位請求論文

室町期抄物における漢字音研究

—『玉塵抄』を中心として—

李 承英

寄贈
李承英氏

05009254

目 次

第1章 序論	1
1. 本論文の目的と意義	1
2. 本論文の構成	3
3. 各章の概要	4
第2章 資料と先行研究	8
1. 資料について	8
1.1 『韻府群玉』	8
1.2 『玉塵抄』	9
1.3 『玉塵抄』以外の抄物	10
1.4 中世期の辞書・韻書	11
2. 先行研究	13
3. まとめ	16
参考文献	17
第3章 『玉塵抄』における引用文献 — 『韻府群玉』との比較—	19
1. はじめに	19
2. 引用文献の調査	20
3. 引用文献の内訳	24
3.1 引用文献の内訳	24
3.2 『韻府群玉』の引用文献	26
3.3 『玉塵抄』の引用文献	28
3.3.1 経部	28
3.3.2 史部	29
3.3.3 子部	31

3.3.4 集部	33
3.3.5 まとめ	34
4. 漢字・漢字音研究	35
5. まとめ	37
参考文献	39
第4章 『玉塵抄』における韻書	40
1. はじめに	40
2. 韻書利用の実態	40
3. 韻書引用の内訳	43
4. 韻書引用の内容	46
4.1 『韻府群玉』の引用	46
4.2 『韻会挙要』の引用	49
4.3 その他の韻書の引用	53
4.3.1 『広韻』	53
4.3.2 『玉篇』	55
4.3.3 『聚分韻略』	57
4.3.4 『礼部韻略』	58
4.3.5 『集韻』	60
5. まとめ	61
参考文献	62
第5章 『玉塵抄』における呉音と漢音	64
1. はじめに	64
2. 呉音・漢音の伝来と使用場所	65
3. 呉音・漢音と文明本節用集との比較	67
3.1 文明本節用集と一致	69
3.2 文明本節用集と不一致	71
3.3 文明本節用集と一部一致，一部不一致	73

3.4 呉音・漢音の比較のまとめ	74
4. 漢字音の対立と一定の言い方	75
4.1 「経(経録・経文・教)デハ〜トヨムゾ」⇔「詩文デハ〜トヨムゾ」	76
4.1.1 内容	76
4.1.2 『文明本節用集』との比較	78
4.1.2.1 『文明本節用集』と一致	78
4.1.2.2 『文明本節用集』と不一致	80
4.1.2.3 『文明本節用集』と一部一致, 一部不一致	81
4.2 「ソラニハ〜トヨムゾ」⇔「本(漢書ナド)デハ〜トヨムゾ」	81
4.2.1 内容	81
4.2.2 『文明本節用集』との比較	84
4.2.2.1 『文明本節用集』と一致	85
4.2.2.2 『文明本節用集』と不一致	85
4.2.2.3 『文明本節用集』と一部一致, 一部不一致	86
4.3 「ツネニハ(ツネノ・ヨノツネニ)〜トヨムゾ」⇔「ココニハ〜トヨムゾ」	87
4.3.1 内容	87
4.3.2 『文明本節用集』との比較	89
4.4 「ココラニハ〜トヨムゾ」	91
4.4.1 内容	91
4.4.2 『文明本節用集』との比較	94
5. まとめ	96
参考文献	98

第6章 室町期抄物における漢字音の清濁

—『玉塵抄』と『詩学大成抄』を中心として—	100
1. はじめに	100
2. 「清」「濁」の注記の方法	100
3. 「清」「濁」注記の根拠	103
3.1 傍記	103
3.2 注釈	104

3.2.1	韻書の反切及び同音注から「清」「濁」を判断している場合	105
3.2.2	漢籍や仏典に基づいて「清」「濁」を判断している場合	105
3.2.3	使用場所や先学の説などによる「清」「濁」の注釈がある場合	106
4.	「清」「濁」注記の意図	109
4.1	「韻鏡」図上の分布	109
4.2	「清」傍記	110
4.3	「清」「濁」注釈	115
4.3.1	「清」の注釈	115
4.3.2	「濁」の注釈	118
4.3.3	「清」「濁」の注釈	120
5.	まとめ	124
	参考文献	126
第7章	『玉塵抄』における反切と字音	128
1.	はじめに	128
2.	字音認定の根拠	128
2.1	反切と出典	129
2.2	同音注と出典	131
2.3	反切と同音注の出典	132
3.	反切の方法	133
4.	反切音と現実音	136
4.1	反切による音	136
4.1.1	反切における一致	137
4.1.2	文明本節用集との比較	138
4.1.3	反切音における不一致	140
4.1.4	『文明本節用集』との比較	141
4.2	反切音と現実音と不一致	142
4.2.1	反切を重視する場合	143
4.2.2	現実音を重視する場合	143
5.	まとめ	149

参考文献	150
第 8 章 室町期抄物における「ヨミクセ・クセ」「ヨミツケ」「ヲシツケ(ヨミ)」「名目(ヅカイ)」一用語の分布と意味	151
1. はじめに	151
2. 先行研究	152
3. 「ヨミクセ」「ヨミツケ」等の使用小史	154
4. 抄物における「ヨミクセ」「ヨミツケ」等の分布	156
5. 読み癖の内容	159
5.1 ヨミクセ・クセ	159
5.2 ヨミツケ	163
5.3 ヲシツケ(ヨミ)	173
5.4 名目(ヅカイ)	177
6. まとめ	179
参考文献	183
第 9 章 結論と今後の課題	187
1. 本論文のまとめ	187
2. 漢字音研究史上における『玉塵抄』	189
3. 今後の課題	192
参考文献	193
資料	196
附表 1	201
附表 2	207
各章と既発表論文との関係	214